

常設展示

平成27年度終了 学内共同研究 研究成果ポスター展

11月11日(金)~11月25日(金) / 2号館1階⑥

【機能創理工学科】下村和彦 / 化合物半導体ナノワイヤとCMOS回路の集積化技術に関する研究

【物質生命工学科】堀越智 / マイクロ波非熱効果を用いた迅速酵素反応とそのメカニズム解明

【法律学科】永野仁美 / 国際比較: 新生児スクリーニングをめぐる法的・倫理的課題の研究— 希少疾患予防と患者支援、プライバシー、総合的ヘルス・ロー(Health Low)の潜在力を探る

【ロシア語学科】村田真一 / ヨーロッパ映画におけるポスター

【物質生命工学科】遠藤明 / メタルクラスター/メテニウム錯体複合体を用いたナノサイズ磁石の極低温NMRによる研究

【物質生命工学科】齋藤五緒 / 農作物寄生性線虫に対する細胞性粘菌由来忌避活性物質の生物有機化学的研究

【物質生命工学科】鈴木教之 / 温度応答性ポリマーが形成するミセルを反応場とする水中有機反応の開発

【物質生命工学科】鈴木由美子 / 有機触媒及び金属触媒を活用した超薬理作用化合物の開発

【機能創理工学科】江馬一弘 / 超分子複合体の光物性とナノ構造の光学への展開

【機能創理工学科】坂間弘 / 鉛フリー新規強誘電体材料の開発

【機能創理工学科】嚙道佳明 / 鉄道ネットワークの構築による貧困・教育・環境問題の複合的解決のための方法論の開発

【機能創理工学科】櫻田英之 / 二酸化チタンおよび金属酸化物の光触媒活性の定量評価

【情報工学科】中島俊樹 / 結晶基底に関する表現論とその応用

関連企画

14. キリスト教文化研究所 講演会

聖書講座: 慈しみとまこと—いのちに向かう主の小道—

11月19日(土) 10:30~16:45 / 中央図書館 L-921会議室 地図⑥

慈しみとまこと—それは、神の想いを端的に示すもの。今回は、この二つの言葉を鍵語として、すべての被造物に向けられる神の思いについて考察する。またそこから見えてくる人間の生きるべき道についても思いを馳せたい。

◆聴講料が必要ですので、同研究所にお問合せください。TEL 03-3238-3540

□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者

15. 国文学科、日本漢文学プロジェクト共同研究チーム シンポジウム

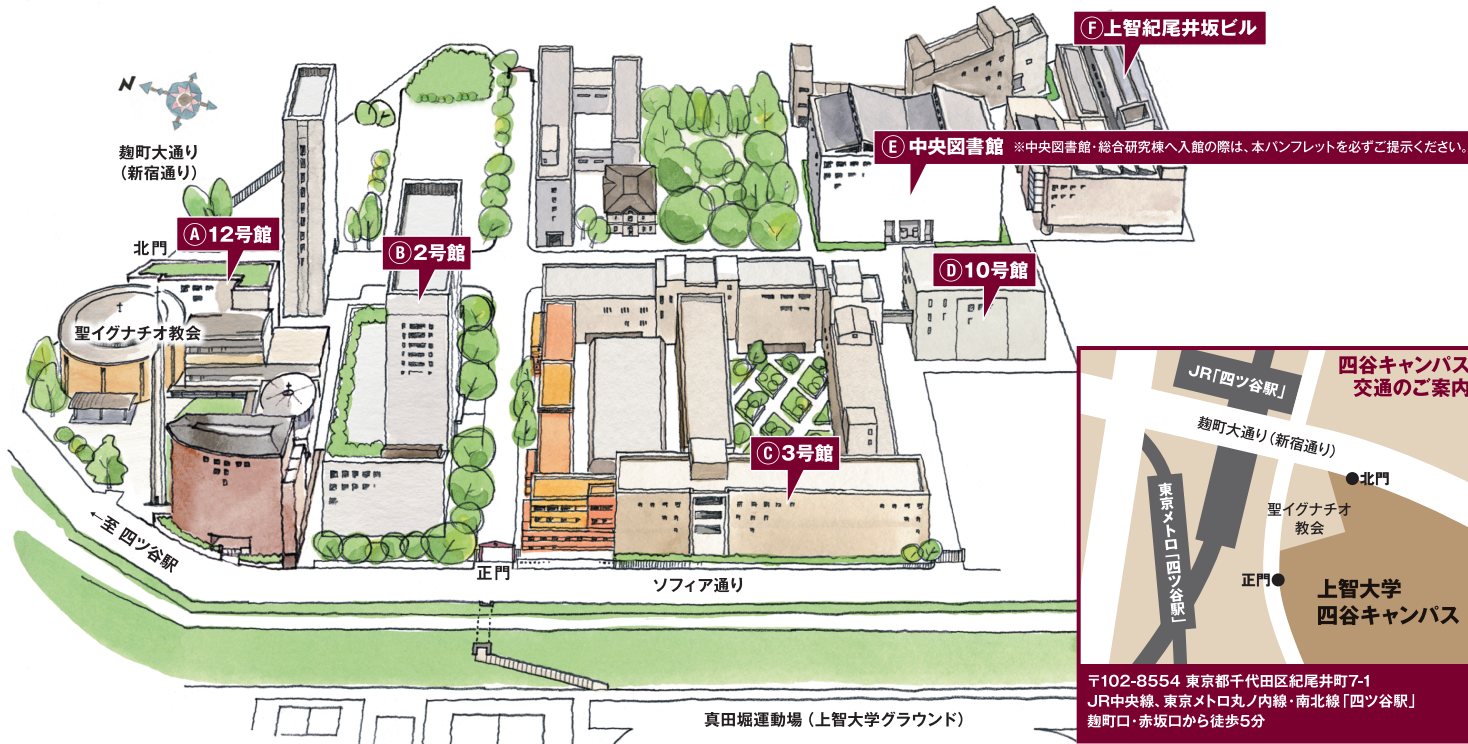
文雅の記憶—幕末・明治期文人と時代・政治・地域文化—

11月19日(土) 14:00~17:00 / 12-203教室 地図④

幕末・明治期は、多くの学者・文人・詩人たちが全国各地で多様な活動を繰り広げた、日本文学が質量ともっとも充実した時代だったとも言われる。本シンポジウムでは、当時の文人たちの事績・文業を、自筆稿や書簡など一次資料を駆使しながら掘り起こすこと、いわば失われた「文雅の記憶」を思い起こすことをテーマとする。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

上智大学四谷キャンパスマップ



- 中世思想研究所 TEL:03-3238-3822
- イペロアメリカ研究所 TEL:03-3238-3530
- 国際言語情報研究所 TEL:03-3238-3493
- グローバル・コンサーン研究所 TEL:03-3238-3023
- 比較文化研究所 TEL:03-3238-4082
- ヨーロッパ研究所 TEL:03-3238-3902

- アジア文化研究所 TEL:03-3238-3697
- アメリカ・カナダ研究所 TEL:03-3238-3908
- 地球環境研究所 TEL:03-3238-4410
- メディア・ジャーナリズム研究所 TEL:03-3238-7145
- イスラーム研究センター TEL:03-3238-4073
- 理工学部・理工学研究科 TEL:03-3238-3300

●主催: 上智大学研究機構 [連絡先] 上智大学研究機構事務局(研究推進センター) TEL:03-3238-3173 <http://www.sophia.ac.jp/>



未来を育む 学術研究の今。

Sophia Open Research Weeks

ソフィア・オープン・リサーチ・ウィーク 2016

2016年11月11日(金)–25日(金) / 上智大学 四谷キャンパス

- 中世思想研究所 ●イペロアメリカ研究所 ●国際言語情報研究所 ●グローバル・コンサーン研究所 ●比較文化研究所
- ヨーロッパ研究所 ●アジア文化研究所 ●アメリカ・カナダ研究所 ●地球環境研究所 ●メディア・ジャーナリズム研究所
- イスラーム研究センター ●理工学部・理工学研究科 ●学内共同研究採択課題 ●重点領域研究採択課題 ●上智大学研究機構

■主催: 上智大学研究機構 ■後援: 千代田区



Sophia Open Research Weeks

Sophia Open Research Weeks 2016へようこそ。

上智大学研究機構では、機構所属の研究所等の研究活動成果を学内外に紹介するイベントを2006年度から毎年開催しています。今年度も、多くの方が気軽に参加でき、楽しんでいただけるよう多彩な企画を用意して「Sophia Open Research Weeks 2016」を開催します。今年度のテーマは「未来を育む学術研究の今。」です。このリーフレットを手にとり、未来につながるイベントへお出掛けいただければ幸いです。



上智大学研究機構長 長尾直茂

常設研究部門

1. 比較文化研究所 (講演会)

(1) Author as Ultimate Authority: Checking My Translations with Murakami and Sōseki

11月11日(金) 17:00~18:30 / 中央図書館 L-921会議室 地図③

Different sets of problems confront translators of living and dead authors, especially when the translator looks to the author for the authoritative interpretation of the text. The speaker, Dr. Jay Rubin, cites his experience translating both Murakami Haruki and Natsume Sōseki.

□高校生、■大学生、■大学院生、□一般の方、■研究者

(2) The Holy Relic of Ananda and the Dragon Girl's Jewel: As Depicted in the Honpō-ji Lotus Sūtra Mandala

11月21日(月) 18:30~20:00 / 10-301会議室 地図⑩

The relatively unknown late-Kamakura-period masterpiece, the *Lotus Sūtra Mandala* consists of twenty-two hanging scrolls that illustrate the twenty-eight chapters of the *Sūtra of the Lotus of the Wonderful Dharma (Myōhōrenge-kyō)*. Dr. Shizuko Haraguchi's talk will focus on the bones of Ananda depicted in the ninth scroll and the Dragon Girl's jewel shown in the twelfth scroll. Ananda was widely considered the founder of the Ritsu sect of Buddhism, based on canonical texts called the Vinaya Pitaka. He was also venerated as the patron saint of nuns, since the Buddha permitted his step-mother Mahapajapati to be ordained as a bhikkhuni or nun only after Ananda's intercession.

□高校生、□大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

2. 国際言語情報研究所 (講演会)

(1) 言語聴覚障害学の社会的展開:失語症のある方と共に歩む—失語症旅行団の活動を通じて

◎山本弘子氏(府中療育センター)

11月12日(土) 10:00~11:30 / 2-415教室 地図⑥

社会での交流や活動が制限されがちな失語症のある方達への言語聴覚士の支援は、言語機能回復のみならず、患者さんのQOL向上を考慮、社会参加のサポート等幅広いものであることを失語症旅行団の活動を通して考える。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者、■その他(ボランティア活動に関心のある方)

(2) 言語聴覚障害学の社会的展開:

言語聴覚士による災害支援を通して見えてきたもの

◎西脇恵子氏(日本歯科大学)

11月19日(土) 17:30~19:00 / 2-414教室 地図⑥

「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)」の東日本大震災と熊本地震の災害支援に参加した言語聴覚士から、災害支援活動の実態、言語聴覚士が行う支援の本質および可能性についてお話いただく。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者、■その他(ボランティア活動に関心のある方)

(3) 子どもの言葉から人間の言語能力の秘密に迫る

◎菅原彩加氏(三重大学 特任講師)

11月23日(水) 15:30~17:00 / 中央図書館 L-821会議室 地図③

私たちが普段何気なく操っている言語は複雑かつ多くの予測可能なルールで成り立っています。本講義では、子どもが母語をどのように獲得していくのかについて、実際に行われた実験を紹介しながら考察していきます。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者、■その他(ボランティア活動に関心のある方)

3. アジア文化研究所 (シンポジウム)

未来への文化遺産:マニラ・沖縄・プノンペン

戦争の記憶を継ぐために

11月13日(日) 13:00~16:30 / 2-508教室 地図⑧

戦争・紛争に係るミュージアムは、その体験・記憶を次世代へ伝えるだけでなく、現代及び未来の平和な市民社会構築に貢献する“文化遺産”になりうるのか。アジアの3都市を事例に共有し比較検討します。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者

4. グローバル・コンサーン研究所 (ワークショップ)

サステナブル・チョコレート・ワークショップ

—ブラジルのアグロフォレストリー・カカオ生産者と日本の消費者をつなぐ

11月16日(水) 17:00~19:00 / 紀尾井坂ビル5階 第2会議室 地図⑨

ブラジル北部で実践されているアグロフォレストリーで生産されるカカオ豆でチョコレートを作り、アマゾン地域の自然、文化、社会と自然環境の持続可能性に関する講演を行う。(協力:NPO法人クルミン・ジャポン)

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者、■その他(関連NGOスタッフ等)

5. 地球環境研究所 (公開イベント)

原点に戻って環境保全に関する諸原則を考える

11月17日(木) 10:00~11:30 / 中央図書館 L-821会議室 地図⑥

未来世代により良い環境を残していく持続可能な開発に関する理解を深めるため、公開イベントの形式で環境保全に関する諸原則の議論を行う。環境リテラシーの実践で、持続可能な社会の形成に寄与する人材の養成に貢献する。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者

6. イベロアメリカ研究所 / アメリカ・カナダ研究所 (シンポジウム)

アメリカ大陸と太平洋地域をつなぐ:「境界」を超えることの課題と可能性

11月17日(木) 13:15~18:15 / 中央図書館 L-921会議室 地図⑨

20世紀を中心に、アジア太平洋地域と南北アメリカの連関について「移動」の視点から考察する。また、「境界」を超えた事例を研究することの課題と可能性について、若手研究者が意見交換を行い、次世代研究者の育成・活性化に役立てる。

□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

7. ヨーロッパ研究所 (ミニ・シンポジウム)

ドイツの環境意識の背景を探る

■講演1「ドイツのエネルギー転換とキリスト教」

◎木村護郎(ドイツ語学科教授)

■講演2「ドイツ自然保護の思想的源流を求めて」

◎山縣光晶(ドイツ環境政策研究所所長・林業経済研究所フェロー研究員)

11月17日(木) 17:00~19:00 / 12-202教室 地図④

環境運動・政策が注目されるドイツ。その背後にある自然観について、宗教や文学といった思想的観点から考えることによって、ドイツ人の環境意識についてより深く理解することをめざします。

□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

8. メディア・ジャーナリズム研究所 (上映会 & セミナー)

放送人の世界 ほりかわとんこう 人と作品

11月19日(土) 14:00~17:30 / 12-502教室 地図④

11月20日(日) 14:00~17:30 / 10号館講堂 地図⑩

「放送人の世界」は、日本の放送史に残る番組を制作・演出した放送人を招き、その代表作品を鑑賞するとともに、本人の話をもちに、日本のテレビ文化のありようをディスカッションするセミナー。

■大学生、■大学院生、■研究者、他■その他(ジャーナリスト等)

9. 中世思想研究所 (講演会)

中世における平和の諸相

11月20日(日) 10:30~17:00 / 中央図書館 L-821会議室 地図③

異文化と常に対峙していた西洋中世では、その評価はさておき、様々な場面で平和が主題化されていた。今日的状況に鑑み、文学・史学・哲学を専門とする三名の講演者とともに中世の平和への思索を辿りつつ、平和の意味とその実現への道程を考える。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

時限研究部門

10. イスラーム研究センター (シンポジウム)

協調と融和のイスラーム—日本・中国・インドネシアの事例から

11月19日(土) 13:30~17:30 / 2-408教室 地図⑧

私たちにあってイスラームがより身近になっていく未来を見据えるとき、紛争や暴力との関わりでイスラームを論じる語り口が支配的になることは、大きな危険をはらんでいる。このシンポジウムでは、日本と日本に比較的近い中国、インドネシアを事例に、対立をはらみながらも、イスラームが現地の社会や民族、文化に協調と融和のうちに溶け込もうとしてきた過程に注目する。

□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者



MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
11月7	8	9	10	11 1.- (1) 11.	12 2.- (1)	13 3.
14	15	16 4.	17 5. 6. 7.	18	19 2.- (2) 8. 10. 14. 15.	20 8. 9.
21 1.- (2)	22 12.	23 2.- (3)	24	25 13.	26	27

【常設展示】平成27年度終了 学内共同研究 研究成果ポスター展 / 11月11日(金) ~ 11月25日(金)

研究機構等

11. 上智大学学術研究特別推進費 (講演会)

2015年度採択重点領域研究課題中間発表

研究代表者:理工学部物質生命理工学科 藤田正博 准教授

環境調和型溶媒「イオン液体」を用いた次世代バイオリファイナリーの構築

11月11日(金) 17:00~18:30 / 2-410教室 地図⑥

水、有機溶媒に次ぐ第三の溶媒としてイオン液体が注目を集めている。本講演では、セルロースを溶解できる高極性イオン液体を用いた天然有機化合物の効率的抽出や機能性材料の開発について紹介する。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

12. 理工学部・理工学研究科 (講演会)

2016年度自然科学部門ノーベル賞解説講演会

11月22日(火) 17:30~19:40 / 3-448教室 地図⑩

理工学部・理工学研究科では、例年どおり、2016年ノーベル賞自然科学部門の受賞に関して、それぞれの分野に詳しい先生方に解説をお願いし、講演会を開催します。学部学生や専門家でない方向けに易しく解説いただきますので、理工学部の学生、教職員の方々はもちろん、他学部の皆様や卒業生の方々もぜひご参加ください。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

13. 学内共同研究2015年度終了課題研究成果発表 (シンポジウム)

研究代表者:理工学部機能創造理工学科 暁道佳明 教授

「持続可能な社会」を目指したインフラ構築と開発の在り方

11月25日(金) 17:15~19:00 / 2-1702会議室 地図⑥

本シンポジウムは、気候変動や生態系の保護、健康と福祉、ジェンダー、教育、都市開発等の諸課題に配慮した、21世紀における持続可能な社会づくりに寄与するインフラ開発について、様々なアクターを交えて議論する。

■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

